

## 平成28年度第1回岡崎市市民協働推進委員会会議録

日 時 平成28年9月3日(土)午後3時30分～午後5時  
場 所 岡崎市役所福祉会館3階視聴覚室  
出席委員 牛山久仁彦委員長・関谷みのぶ委員・神尾明幸委員・石川優委員・  
白井宏幸委員・山田美代子委員・野村綾乃委員  
事 務 局 市民生活部(市民協働推進課):梅村部長・高井次長・荻野主幹・  
天野主任主査・尾崎主査・築瀬事務員  
文化芸術部(文化活動推進課):小田次長・本間主幹・細野主査・渡邊  
事務員  
傍 聴 者 0名

### 1 開会のことば

### 2 委員長挨拶

### 3 議題

#### (1) (仮称)市民協働の手引きの作成について

事 務 局 資料により説明。

委 員 A 事務局からの説明について、質問や意見を伺う。

委 員 A 資料にある最初の指摘事項「市民」の中には市民個人、市民活動団体、法人市民、事業者が含まれるようにし、一方、それぞれに対しては専門的な内容にはなっていないことを記すと良い。」について意見します。

この指摘に基づき、(仮称)市民協働の手引きに「この手引きでは、各主体に対する専門的な内容とはせず、各主体と市が市民協働を進めるうえで共通する一般的な内容をまとめています。」と説明しましたが、前段の「各主体に対する専門的な内容とはせず」を無くしたほうが、シンプルで分かり易いかと思います。また、「各主体の組み合わせは複数が考えられます。」の説明書きは、「各主体の組み合わせには複数の場合が考えられます。」とか、「各主体の組み合わせには複数の組み合わせが考えられます。」とされたほうが分かり易いかと思いますが、いかがでしょうか。

事 務 局 有難うございます。

委 員 B 発行する段階では(仮称)がとれて、「市民協働の手引き」というタイトルになる訳ですか。

事 務 局 (仮称)は、外して発行します。

委 員 B 何かサブタイトルは検討していますか。

- 事務局 いまのところ検討していませんが、何かご意見が有りますでしょうか。
- 委員 B 手引きを読まれるのは、市民の方や行政の方になるでしょうが、サブタイトルのようなものがないのかなと思いました。
- 事務局 そのあたりは考えてみたいと思いますが、委員の皆様からのご意見はありますか。
- 委員 B 考えていませんでしたが、「市民と創る、新世紀岡崎」など岡崎市はたくさんのキャッチフレーズがありますので、そのようなものがあるのかなと思いました。
- 委員 A タイトルの「市民協働の手引き」は良いんですけど、その下に柔らかく読みたくなるようなサブタイトルがあると良いのかなと思いました。
- 事務局 良いご意見がありましたら、お寄せいただければと思います。委員の方からありませんでしたら、事務局において提案させていただきます。
- 委員 B 特になければ、サブタイトルは無くても構いません。
- 事務局 考えさせていただき、お示ししたいと思います。
- 委員 C 1つは全体的にですが、誰が読むのかということに関わることで、手引きは主に誰が手に取る訳ですか。
- 事務局 職員と市民の方が読めるように作成しております。
- 委員 C 職員に向けてのものであれば、言葉の選択やページ数などよろしいかと思いますが、市民の方にとって貰いたいと思ったときに、まだちょっと硬いと感じます。書いてある内容は、平たくしようとしているのは分かるんですが、見たときに文字だけが目に入ってくると市民の方には、少し敬遠されるところもあるので、ポイントになる箇所にはそれをイメージ出来るイラストが入るとかすると視覚的に入ってきて良いかなというのが全体的なところでは。
- 他には細かなところですが、10 ページの中段に誤植がありました。次に 12 ページですが、PDCAサイクル図は分かり易いので、図の下にある実施段階の箇条書きの横に、詳細説明が何ページから記載されているかの索引をつけると読み易くなり、そこだけ見たい人が読めるようになります。
- さらに、19~20 ページですが、財政状況の項目の途中でページが変わってしまっているが、出来れば文章を工夫し同じページに収めると良い。重要なことが一目で見られるようにして、視覚的に内容のすべてが入ってくるような紙面構成にさせていただけると良いかなと思います。

- 委員 A            いまのご指摘に関連して 19～20 ページに書かれる内容についてですが、20 ページの注意点の注釈は前段に係るものでしょうか。
- 事務局  
委員 A            そうなります。  
                      であれば、19 ページの記載を少し広げて後ろに下げるだとか、先ほど良く出来ているとの指摘があった P D C A サイクル図のページでも、仕方がないことだが注釈がページ内に収まっておらず見辛く感じる。これはアレンジやデザインの問題だろうが、見易く工夫が出来ると良いかと思えます。
- 事務局  
委員 A            ご指摘有難うございます。  
                      見出しを 1 章から 3 章に分けており、3 章は「3 章 資料編」となっていますが、岡崎市の協働の現状についての記載もあれば、様式資料の記載もあるので、「3 章 資料編」ではなく「資料」とするなど工夫されてはいかがでしょうか。
- 事務局  
委員 D            構成について工夫させていただきたいと思えます。  
                      全体に関しては、これまでの意見で良いかと思えます。手引きを説明する場についてですが、職員は勿論だが市民の方についてもこれを使って研修する場があると良いと思えます。資料だけを見ても、なかなか分かり難い部分もあるのでお願いしたい。
- 事務局  
委員 E            今後は、模索していきたいと思えます。それについては重々承知しております。有難うございます。  
事務局            前は、どの程度の市民の方が手に取られましたか。
- 事務局            岡崎市としての協働の手引きの作成は、今回が初めてになります。作成当初の過程では職員向けを考えておりましたが、市民に向けた手引きも必要とのご意見もいただきましたので、市民の方にもお分かりいただける内容として作成させていただきました。
- 事務局            当初は職員に向けたものが必要と考えておりましたが、以前の  
                      本委員会で、まずは市民に向けてであるとの意見をいただいておりますので、まずは市民に向けてと考えています。  
                      そのなかで市民の方への周知については、以前にワークショップマニュアルの雛形を作成したときもそうでしたが、職員向けには辛辣な表現がされていたが、これをそのまま公開することは出来ませんので、表現を柔らかくすると内容がはっきり伝わらなくなる。言い回しなどを少しずつ研究し、完成に近づけて行きたいと思えますので、ご指導いただければ皆様の合議で内容を改めて行きたいと思えます。  
                      製本はせず、まずはホームページで公開し改良をして行きたいと思えます。ご意見はどんどんいただきたいと思えますので、よ

ろしくお願いします。

委員 F 資料編にある市民協働事業の実績についてですが、決算額は年々増えており、27年度の決算額は、前年比で1億3千万円ほど増えています。27年度は事業件数が減っているなかで、決算額が増えた要因は何かありますか。

事務局 特段の要因までは把握出来ておりませんが、各課からの集計を行うなかで、各職員に少しずつ浸透してきていると考えております。

事務局 もう一つ言いますと、27年度から始まった、乙川リバーフロント地区整備計画の事業や、岡崎市市制施行100周年記念事業についても各課が報告してきたことが増額の要因として考えられます。

また、今までは各課で協働事業を行っていても報告漏れもあったかと思いますが、協働について一般的になってきたものと思われる。

委員 B リアリティのある具体的な事例として、徳川家康公顕彰四百年記念事業などで実行委員会をつくり、市が負担金を払っている場合の協働の項目は、事業共催にあたるかと思いますが、項目の分類は各担当者で分かり難い場合もあるかと思いますが、事業共催などの場合は各課において言葉の使い方が微妙に違っている可能性がある。協働の項目のうち、委託は判別がしやすい。補助は、補助金ですから原資は申請団体にあつて、団体に対する補助になる。事業共催になると、岡崎市が主催ないしは共催で名前を連ねるケースや実行委員会のなかに岡崎市が入っているなど、そういうことをこれで示しておかないと、職員向けの分かり易い仕訳にならないのかなと思います。

委員 G 例えば我々が行っている岡崎まちものがたりの事業は、協働事業の集計に入っている訳ですよ。項目の仕分けが曖昧になっている事業もあるかもしれないが、それぞれの項目についての事業の例示については難しいかと思われます。仕分けについては、ある程度漠然としていくしか手が無いのではないか。

事務局 委員Bが言われるように、事業の例示をして仕分けの方向性を示すことが出来ればというのがありますが、そこまで出来るかというのがあります。

事務局 協働の項目について、職員が意識しているかというところがあります。先ほど委員Gが言われたように、岡崎まちものがたりがありますね。各学区約8ページで学区を紹介し、岡崎市で1冊の本にまとめるものですが、これは市民協働推進課から、新世紀岡

崎委員会へ負担金を支出しています。それを原資に新世紀岡崎委員会から各学区に支出しており、これまでにあまり例のない形態ですが、これも一つの協働なのかと思います。

委員 G

事業内容については、あまり細かく書いても一般公開を行うと誤解を招きやすいかと思います。事業費の内訳について注釈を入れたり、代表的な事業を示すよりも、細かすぎない内容にしておいたほうが良いかと思います。市民協働の項目としては、これだけ有り、こういったことで使われていますというような内容で良いのではないかと。

あまり注釈を付けてしまうと、主にどの事業で多くの事業費がかかっているかなど変な誤解を招きやすくなる。細かな注釈を入れることには、私は反対の意見を持っています。市民協働の項目を示す程度の内容が良いかと思います。

事務局

愛知県が作成した「あいち協働ルールブック 2004」という資料がありまして、各市町村の代表者が県に何回か集まり色々協議し、ルールブックを作成しました。その時に協働の項目を協議しましたが、そこで決まったものを尊重して、ルールブックで規定しているものを協働の項目としてあります。

2004年ですから年数が経って時代も変わっていますので、そぐわないところも確かにあるかとは思いますが。

委員 G

詳細バランスは明示が出来るものではないでしょう。ですから、各項目について事業費の総額を示す程度が適当かと思います。これは、インターネットで公開するでしょうし、それに細かく注釈を付けるのは大変なことだと思います。混乱を招かない内容にしたほうが良いかと思います。

市民協働の実績についてはこのままとし、項目ごとの注釈はこれ以上入れなくても良いと思います。

事務局

そうなりますと、現在の内容程度の記載が良いということですね。

委員 G

事務局としても、各項目の詳細内容は掴みきれないでしょう。

事務局

一つ一つ掘り下げるのは、なかなか難しくなります。

委員 A

改めて見ると市民協働事業と記載していますが、市民協働事業との表現で問題ないでしょうか。岡崎市の27年度の市民協働事業の決算額として、約8億8千万と記載してしまっていて問題ないでしょうか。

協働事業というと、岡崎市公益活動事業費補助金のような活動が協働事業のようなイメージがある。見出しについては、「本市協働事業実績」を「本市における協働の実績」として、続く内容

は、「市民協働事業の実績」を「市民との協働による取組み状況」などとしたほうが良いかと思います。市民協働事業としてしまうと、こんなにあるのか思ってしまう。

また、協働の項目のうちの委託とは、相手方が企業でなければ該当する訳ですか。

委員 B 次のページの真ん中に、委託とは「行政と相手団体とが対等な立場である委託により実施する事業」と書いてあります。

例えば、公園で岡崎市緑化協力会と植栽の伐採について委託契約した場合は、このなかに入る訳ですか。

委員 A 委託というのは、委託契約であり契約行為だから対等だということでしょう。

委員 B 仕様書を書く段階で、岡崎市緑化協会が全部調査をして仕様書を書いて出すという対等な立場というイメージが強いですよね。

委員 A 委託とは、契約行為な訳ですよ。契約行為とは法的には対等な関係になります。

事務局 もともとの市民協働としての委託の考え方は、行政と相手団体とが対等な立場でお互いの役割分担や委託料について協議し、事業が成立ったもののことを指します。それを簡単に書くと記載内容になるかと思います。

委員 A 対等でない委託というのは、何かあるんですか。

事務局 ここで言う対等でない委託とは、対等な立場で役割分担を定めない従来からある行政と業者との委託事業を想定しています。

委員 A いったいどこからが協働なのかというのは、岡崎市だけの問題ではなくて、以前からの問題なんですよ。行政法の先生も訳が分からないではなくて、協働という形態をつくるべきだと言っています。自治体によっては契約なんだけど、そこに別の協定を結んで協働としていたりもしますが、そこまでは制度が出来ていないので、どこの自治体でもざっくりと表現している部分になります。ですから、協働事業とはしないで、協働の取組みについて、このような項目で行っている程度の表現であれば良いかと思います。協働事業と表現してしまうと違和感があります。

委員 B 夏祭りなどは協働事業の意識が強いです。岡崎城下家康公夏まつりなどは、みんながお金を出し合うなかで市も支出して、交通指導員等の人材も市が出している。あれは、何なのかなと思います。

委員 A ですからそれらは、協働による取組みなんですよ。

事務局 岡崎市の協働の取組みについては、粛々と集計しておりました。

一宮では、市民活動支援制度の市民1人当たりの支援額について、市民税の調定額の1パーセントを18才以上人口で除した額を算定の基礎とする事例もありますが、岡崎市の場合はこの集計を協働事業として扱って計算すると、事業費は市税の約2～3パーセントになり、議会でも答弁した経緯がございます。

委員 G           これには項目の注釈や定義が入っているので、現在の案で良いかと思いますが、費用対効果の定義は無い訳ですか。

事務局           現状では、ございません。

委員 G           一番問題なのは、お金を使った実績よりも費用対効果がどうだったか知りたい訳である。そうすると来年度の問題の考え方や、あまり良くなかった点の検証だとか、市民が一番思うのはそういったことだと思います。全体的に評価できるものが無いですか。例えば26年度と27年度を比較しての費用対効果の在り方などありませんか。

事務局           費用対効果の測り方が、非常に難しいと考えます。

委員 G           市役所からはそういった意見を聞きますが、民間企業はそうではありません。通常会社では掛かった費用に関する在り方が当然あります。24年度からの集計が記載されている訳ですから、26年度と27年度の決算額を比較すると1億3千万程度増額している訳ですよ。これはどういったことなのかなというのがあります。先ほど言われた、徳川家康公顕彰四百年記念事業や岡崎市市制100周年記念事業による増額でしょうか。

事務局           これにつきましては、徳川家康公顕彰四百年記念事業でしたり、岡崎市市制100周年記念事業による増額と考えられます。

事務局           各課から集計した資料がありますが、いまは手元にないためすぐには正確な情報が分かりません。

委員 G           そうでしたら費用対効果の問題など、この場では出てきませんね。

事務局           各課において、何を行ってどれだけ効果があったかを調べないと分かりません。協働で草刈を行ったから通常では100メートルのところを200メートル施工出来たとか、そういったものを調べないと出てこないかと思えます。

委員 A           委員Gが言われたように、費用対効果の評価については今後の課題ではありますね。

つまるところ、記載内容につきましては、見出しの「本市協働事業実績」を「本市における協働への取組み実績」程度にして、「市民協働の実績。本市では、様々な分野で市民協働に取り組んでいます。」とし、下の協働の実績表については、「市民協働事業

の実績」を「市民協働への取組み実績」などとして、市民協働事業として括るのは辞めたほうが良いかと思えます。

事務局

有難うございます。

委員 A

いまご指摘のありました評価につきましては、ここまでやってきたなかで、そろそろしっかりと考えていけない内容かと思えますので、課題として残して置きたいと思えます。

委員 G

各課からの調査の際に各課の意見も聞きたい。単なる決算額を貰うのではなく、事業内容についてが費用対効果に係る問題であり、今後の課題となる部分になってきます。難しい内容かと思えますが、事務局で努力をしてくださいということになります。

委員 A

市役所全体の行政評価は、どの部署で行っていますか。

事務局

行政経営課で行っています。

委員 A

そこでどういった評価を行っているかについて、今後議論する際に出していただいて、行政評価の方法がどう行われているかを少し議論して行くことも今後の課題かと思えます。

委員 G

市役所も全体の評価を行っている部署がある訳ですね。

事務局

事務事業評価で評価委員から意見を貰います。市の事業について、実施理由や廃止した場合にどうなるかなどの意見が出されます。効果については、何人が利用したかや、昨年度より利用者が増えたかなどになってきます。

委員 A

勿論第三者委員会で評価する訳ですよ。

事務局

第三者委員会で評価します。

事務局

事務事業評価の内容は、市のホームページでも公開しています。

委員 A

はい。よろしいでしょうか。議題1について、何かご意見がございましたでしょうか。手引きについては、改善を図っていくとのことですので、更にご意見がございましたら、事務局へお寄せいただければと思えますのでよろしく願います。

## (2) 社会貢献活動に関する事業者アンケート結果と方針の検討について

事務局

資料により説明。

委員 A

事務局からの説明について、質問や意見を伺う。

委員 G

企業は、あまり社会貢献活動を行っていないと聞きます。地域貢献のレベルが低く、自分たちのゴミ出しにすらあまり協力しない。行政が行うものと考え、地域貢献を考えていないんだよね。

例えば、町内会費を払うことも社会貢献の在り方だが、それすらやらない企業が岡崎市にはだいぶあります。特に商店関係が多いですね。なかには簡単な社会貢献活動すらやらない企業もある。そういった意味では、社会貢献活動の在り方について出していた



だきたい。

町内会と協働していくのも一つの社会貢献になるかと思う。清掃活動にしても最初は協力するのだが、休日に社員を出勤させると今後の問題があるなど、企業的な問題がある。町内会の活動は、年間に相当な回数があるが日曜日ばかりになる。交通安全や防犯に関しても同じことですよね。自分の利益になることは積極的に協力する。例えば事業所の登録について、防犯関係の緊急連絡の際の代表者の連絡先を教えてくださいと言うと、すぐに回答がある。

社会貢献活動を行う視点や社会貢献活動について、広げて行って欲しい。アンケートを取られたので、社会貢献の在り方について、冊子などを送ってください。事業者に協力を求めることも必要だと思います。

現状では、町内会活動への協力依頼について総代さんからの伝え方もあるだろうが、企業の20～15%くらいの方は、無視をしてしまう。私などは、町内の問題や支出の内容を説明し、理解を求めるようにしています。そうすると理解が得られます。わたしの町内では協力が得られていますが、全体的には15%くらいの企業は協力しない。

企業の協力を得るために、社会貢献とはどういうものかについて、ぜひ作ってください。我々も総代を通じて配布します。社会貢献とはこういったことですから、協力をお願いしますと行って配布しますよ。これは良いことだと思いますので、ぜひ作ってください。

委員 A

資料の検討メモの、「・規模が大きくなっても気運等が醸成されないなどの理由が挙げられることから、取組みがすぐに生まれにくいと思われるが啓発を行う。」とあります。規模が大きくなるほど気運醸成がされていないとも読めますが、資料を見ると、社会貢献活動を実施しているのは圧倒的に規模の大きな企業になっています。ですから、気運が醸成されていないという理由が多いから、規模の大きな企業に気運醸成を啓発するというのは、適切な検討なのでしょうか。

事務局

これについては、規模の大きな企業での社会貢献活動を行っていない理由としては、気運醸成が図られていないとの理由が増えていることを表したものです。

委員 A

規模が大きくなっても、気運醸成がされていないことが理由に挙げられていることを記載している訳ですよね。ですが、規模が大きな企業の多くは、社会貢献活動に取り組まれている訳ですよね。

大企業に気運醸成の支援を行う必要があるのかですが、大企業のほとんどは、社会貢献活動を行っている訳ですよ。

事務局 従業員数が100名を超える事業所では、ほぼ行っているという回答になります。

委員 A 大企業で気運が醸成されていないから、それを支援するというのは、いかがでしょうか。むしろ小規模な事業所に支援を行うことのほうが必要ですよ。

事務局 一義的には、そういったことになるかと考えております。

委員 A 以前に委員Cと企業の調査を行ったことがあるんですよ。トヨタ自動車やパナソニックなどが調査先だったんですが、アイシン精機など、すごく行っているんですよ。その調査の印象からすると、これには違和感があります。

事務局 資料の記載に分かり難いところがありました。

委員 A また、資料の検討メモに、「・活動情報の提供、取組みやすい事例を集めた事例集を作成し啓蒙する。」とありますが、行政が企業に対し啓蒙するという表現は適切ではないので、「事例集を作成し促進する。」あるいは、「事例集を作成する。」が適切かと思えます。

委員 B 具体的な事例を言いますと、三菱自動車は、以前に岡崎の夏祭りなどの様々な行事に参加されていたんですが、全部止められてしまったんですよ。ところが、三菱自動車の労働組合さんから夏祭りのボランティアに多数の方が参加されました。会社としては御神輿を出さないけど、御神輿を担ぐ人を出してくれたり、交通規制などもやっていただいた。地元企業として長年培ってきた人たちが行ってくれました。社会貢献活動については、企業の経営トップがやるのではなく、労働組合が社会貢献活動を行うところもあるので、総務や人事の部署に照会をかけても回答が出辛い場合もある。それよりも労働組合に照会をかけたほうが、回答が得られる場合もあります。

もう一つは、小さな企業の場合に、例えば社長がライオンズクラブや青年会議所に入っているのは、社会貢献活動と言えるんでしょうか。いかがでしょうか。

委員 A あくまでも事業所としての活動が、社会貢献活動と捉えられるでしょうね。

事務局 事業所としての活動で判断されますので、社長個人の活動は違うかと思われま。

委員 B 岡崎信用金庫中央支店さんが、平日の朝に籠田公園の清掃をしています。店長や従業員が行っているのは社会貢献活動でしょう

か。

委員 A 事業所として行っている活動が、企業の社会貢献活動の定義か  
と思います。

委員 B ライオンズクラブやロータリークラブの活動は個人としての  
活動になるのでしょうか。

委員 A ライオンズクラブや青年会議所に加盟していても、活動してい  
る方とそうでない方がみえますから、難しいかと思います。

委員 B 会費の半分ほどを会社が出している場合もあるので、該当する  
のかなと思いました。

委員 G 共同募金の関係で知り得た情報ですが。愛知県は全国的にみて  
も労働組合の社会貢献活動が盛んです。共同募金についても、連  
合愛知だけで4千万円くらい支出しています。愛知県の労働組合  
の在り方は、素晴らしいと思います。

委員 A 組合に対する調査を行っても良いのかなと思います。大企業の  
労働組合は活動があると思いますが、小規模な企業の活動につい  
ては、また研究するなど考えていただけると良いかと思います。

委員 G 共同募金だけでもそれだけありますから、ほかの社会貢献活動  
も多く行ってもらっています。

委員 C 事業所の規模に応じてアプローチの仕方が違うかと思いま  
すが、そのあたりについてもはっきり書いたほうが良いかと思いま  
す。全体をみると規模の大きな事業所のほうが社会貢献活動を行  
っていますが、その中でやっていない事業所をみると事業所内の  
意識の問題もありますので、これについてのアプローチの方法を  
考えることが必要です。また、中小の事業所をみると資金の問題  
であったり、人材の問題であったり、時間の問題であったりして  
いるが、それらを解消するためにはどのようなアプローチが必要  
なのかを考えることが必要です。アプローチのきっかけとして、  
事例集の提供もありますが、これならきっかけになるかと思うよ  
うな発信の仕方を区分け出来ると良いのかなと思います。しっか  
りと考えがまとまっている訳ではないですが、事例集のようにひ  
とつに纏まった冊子を見るよりは、ニュースレターのような形態  
で、どこかの事業所の取組みや、良かった点、活動のきっかけな  
どをA4用紙1枚ほどで月1回くらいの割合で継続して発行し  
ていけると良いかと思います。時間をかけてやるのではなく、5  
分くらいで写真を撮らせて貰ったり、活動写真を貰ったり、コメ  
ントを貰ったりして作成できると浸透しやすいかと思います。

委員 A 企業にとってもイメージアップに繋がるので、利益があるの  
ではないでしょうか。

委員 B 行政がやるのは大変でしょうから、商工会議所に依頼して、商工会議所の会報の一枠で流せばどうでしょうか。そうすれば会員は必ず見ることになります。

事務局 費用面での問題がありますが、確かにそうですね。

委員 A アンケートの結果や委員からの分析を含めて、もう少し議論いただいで詰めていくことになりますね。いま指摘のあった点を踏まえつつ、更に分析のところでご意見があればいただいで、最終的にまとめていただければよろしいかと思ひます。

(3) 第2期市民協働推進計画主要事業の実施状況について

事務局 資料により説明。

委員 A 事務局からの説明について、質問や意見を伺う。

これについては、委員からの意見が特にありませんでしたので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

(4) その他

ア 岡崎市公益活動事業費補助金について

事務局 公益活動事業費補助金の事業対象期間についてですが、開始日を現在の7月1日から前倒しすることにつきまして、財政当局へ相談しておりますが、現時点では見解が示されておひません。このことから、来年度につきましてはスケジュールの調整を図りまして補助対象期間の始まりを6月初旬に出来るよう検討しているところですが、その場合は審査会の日程を5月の開催とする必要があるのでご協力をお願ひいたします。

なお、30年度以降の実施に向けまして、財政当局と調整を進めていきますのでご理解をお願ひいたします。進捗状況につきましては、来年3月に開催します事業成果報告会にて報告させていただきます。

イ 平成28年度岡崎市公益活動事業費補助金成果報告会について

事務局 28年度の公益活動事業費補助金の成果報告会の日程について報告させていただきます。事前に委員長ならびに副委員長にお諮りさせていただきまして、3月18日の午後に調整させていただきました。委員の皆様におかれましては、ご予定いただきますようお願ひいたします。

委員 A 委員の皆様におかれましては、ご都合いかがでしょうか。よろしければ、3月18日の開催とさせていただきます。

それでは、委員の皆様のご議論も尽きたかと思ひますので、こ

れにて議事を終了させていただきます。

#### 4 閉会のことば